

春播き初夏どりにんじんの有望品種‘翔彩（しょうさい）’

1 新しい品種の内容

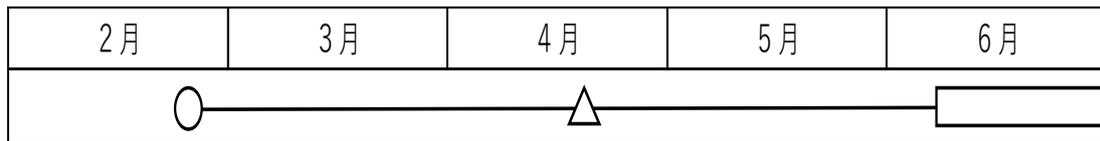
(1) 背景・目的

県西部の砂質土壌で栽培される春播き初夏どりにんじんの慣行品種であった‘ベーター312’（サカタのタネ）は早期肥大性、収量性が良好であったが、種苗メーカーの種子供給が停止となり、代替品種の選定が急務となっている。

春播き初夏どりにんじんの品種比較試験を実施した結果、‘ベーター312’と同等以上の早期肥大性、収量性を有することから‘翔彩’（フジイシード）を有望品種として選定したので紹介する。

(2) 品種‘翔彩’の要約

1) 春播き初夏どり作型に適する（図1）。



○：播種 △：追肥 □：収穫 ※播種直後から追肥までの期間は被覆資材（パスライト）によるべた掛けを行う

図1 ‘翔彩’の適作型

- 2) ‘ベーター312’と同等以上に収量性に優れる。
- 3) ‘ベーター312’と比較して、抽台はやや多い。

2 試験成果の概要

(1) 生育特性

2月下旬播き作型で、‘翔彩’は、収穫時、‘ベーター312’と比べ地上部の生育が旺盛で、葉長が長く、葉重が重かった（表1）。

(2) 収量性

‘翔彩’は、2月下旬播き作型で‘ベーター312’と比較して同等かそれ以上の上物収量となり、L,M規格の割合も高い傾向であった（図2）。

(3) 品種特性

‘翔彩’は、‘ベーター312’と比較して尻づまりは同程度に優れ、抽台がやや多かった（表1）。

表1 各年における収穫時の生育

品種	2017							2018						
	葉長 (cm)	葉数 (枚)	葉重 (g/本)	根長 (cm)	根径 (mm)	根重 (g/本)	抽台 (%)	葉長 (cm)	葉数 (枚)	葉重 (g/本)	根長 (cm)	根径 (mm)	根重 (g/本)	抽台 (%)
ベーター312	41.6	11.2	42.2	15.6	43.3	123.5	1.5	40.5	9.4	24.5	17.0	39.3	103.2	0
翔彩	53.3	9.6	59.0	16.0	42.2	116.1	7.0	47.5	6.9	35.7	17.5	42.2	122.2	1.2

1)2017年 (播種日：2月23日 収穫日：6月5日)

2)2018年 (播種日：2月27日 収穫日：6月12日)

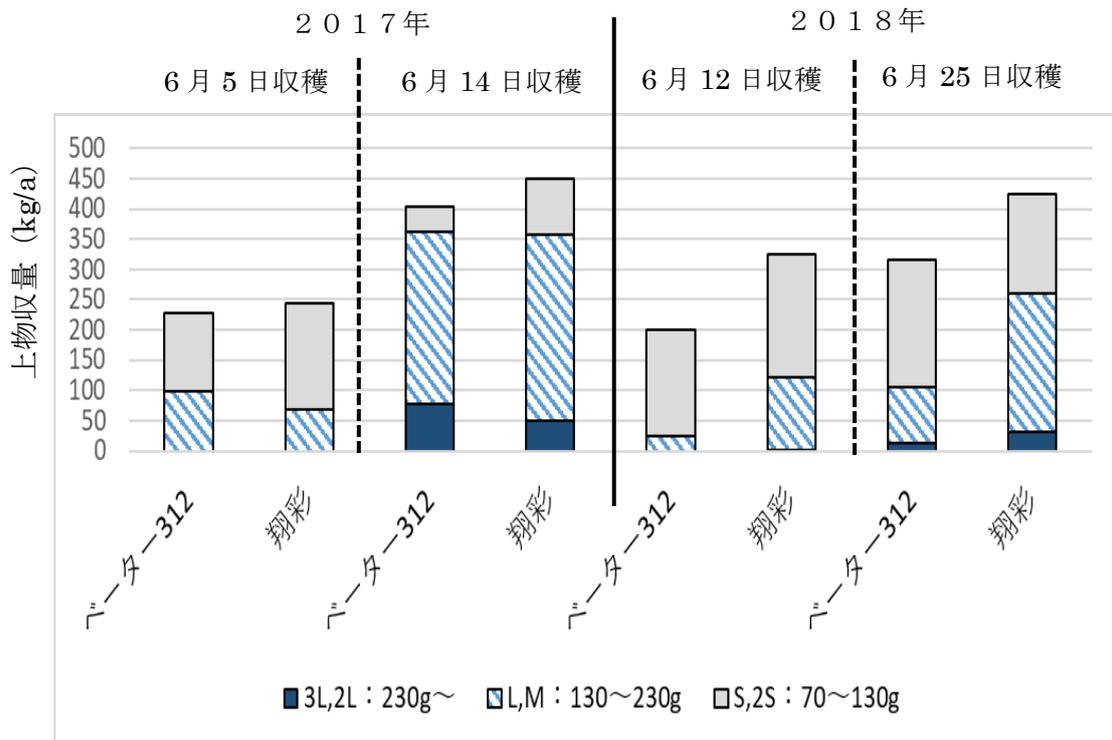


図2 規格別上物収量

3 普及の対象及び注意事項

- (1) 普及の対象 弓浜砂丘地域 春播き初夏どり栽培地域
- (2) 本試験は、弓浜砂丘地域 (砂質土壌) における試験結果であり、他の地域 (土壌) については別途検討が必要である。

4 試験担当者

弓浜砂丘地分場 研究員 梶本悠介
 主任研究員 谷口美保*
 分場長 中村博行
 *現 日野総合事務所 日野振興センター